

王子保地区自治振興会 地域自治振興計画(案)

計画期間:令和7年度～令和9年度(3か年)

1. 地区の現状

- 1) 王子保は、平安時代には「叔羅河(しくらかわ)」と呼ばれた清流「日野川」が貫流し、その背後には霊峰「日野山」がそびえたつ、風光明媚で自然豊かな地区である。
- 2) 王子保は、古来より交通の要衝として知られ、敦賀より河野村を経て「塩」を搬送してきた「古北陸道」に端を発し、中世に至っては「旧北陸道」、近世には「国道8号線」「国道365号線」「北陸自動車道」並びに「ハピラインふくい線(旧 JR 北陸本線)」が南北に通過し、交通体系の発展とともに利便性ある地区である。
- 3) 王子保は、昭和49年の工業団地造成とともに、富士見ヶ丘、向陽町をはじめとした新興住宅地団地、四郎丸町・塚原町等での宅地造成が進み急激な人口増となったが、現在は、人口減少率-5.5%(R4/H24)となり、少子高齢化が進んでいる地区である。
- 4) 王子保は、近年、商店・金融機関の撤退による商店街の消滅にコロナ禍が追い打ちし、地区の活力の衰退化に拍車がかかり、地域団体の活動は縮小し、地区住民の関係性がますます薄くなってきている地区である。

2. 地区の課題

- 1) 良好な自然環境の保全と交流機会の創出
- 2) 新旧住民、外国人移住者、そして世代間のふれあい交流
- 3) 核家族世帯の増加による子育て問題、地域ぐるみの子育て
- 4) 要援護者の急増、特に新興住宅地の高齢化に伴う福祉、防災組織の強化
- 5) 自治振興会、町内会、地区各種団体の組織弱体化、人材・やり手不足
- 6) 地域住民の居場所、交流・コミュニケーションの場の創出

3. 地区の将来像

キャッチフレーズ『笑顔が咲くまち 王子保 ～ 人よし 街よし 自然よし ～』

- 1) 人にやさしい、ささえあう福祉のまち王子保
- 2) 安全で安心して住めるまち王子保
- 3) 人がふれあい、活力あるまち王子保
- 4) 心身ともに健康なまち王子保
- 5) ふるさとの宝、歴史文化、誇りを後世につなぐまち王子保
- 6) みんながつどい、笑顔の花が咲き元気なまち王子保
- 7) 持続可能な地域コミュニティを再生するまち王子保

王子保地区 地域振興計画体系表（令和7年度～9年度）（案）

地区のキャッチフレーズ

笑顔が咲くまち 王子保

～ 人よし 街よし 自然よし ～

担当部会	将来像・目標	基本方針	事業名
ささえあい	人にやさしい、ささえあう福祉のまち王子保	地区内福祉活動の推進	福祉ネットワーク事業
			見守り活動事業
			子育て推進事業
			敬老会事業
あんぜん	安全で安心して住めるまち王子保	防災・防犯活動の推進	防災活動推進事業
			防犯・こども見守り事業
			自然環境保全事業
にぎわい	人がふれあい、活力あるまち王子保	ふれあい、つどい、まなびを通した地域住民の交流の推進及び関係人口の創出、拡大	ふれあい交流イベント事業
			社会教育事業
			青少年活動支援
けんこう	心身ともに健康なまち王子保	スポーツ、健康増進事業の推進	健康推進事業
			地区体育祭事業
ぶんか	ふるさとの宝、歴史、文化、誇りを後世につなぐまち王子保	地域のお宝、歴史文化の継承と発信	お宝普及事業
			お宝探索事業
			お宝継承事業
事務局	持続可能な地域コミュニティの再生	地区の生活環境の整備と振興会の円滑な運営	事務局事業
			狹隘道路除雪事業
			防犯灯管理事業
			環境美化推進事業
			花いっぱい緑化事業
			持続可能な組織づくり事業
広報室	地区内外に王子保を広く知ってもらい、イメージやブランド価値を高める	アナログからデジタル幅広い広報、情報発信	広報事業
実行委員会	みんながふれあい、つどい、まなぶ笑顔の花が咲き元気なまち王子保	必要に応じて設立する	